

令和4年度コミュニティ・スクール取組の成果

学校名	出水市立蕨島小学校	児童生徒数	21人	学級数	3学級
学校運営協議会委員数	6人				

取組テーマ

【学校運営協議会の組織・運営体制づくり及び地域教育力の再生と学校教育への活用】

1 ねらい

学校存続に向けた児童数の維持及び増加対策に取り組むとともに、蕨島地域の活性化を図る。

2 取組期間（時期）及び協力メンバー（学校運営協議会委員や保護者、地域の方など役職名等も）

取組期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

協力メンバー：学校運営協議会委員（自治会長・民生委員・児童増加推進実施委員会委員長
PTA代表・校長・教頭）

蕨島自治会、蕨島小保護者、蕨島児童増加推進実施委員会

3 取組の実際

学校支援部



【海釣り体験】今年度は悪天候のため中止

- ・蕨島小PTA
- ・「夢」実現プロジェクト
- ・地域住民



【校区民学校美化奉仕作業】

- ・蕨島自治会
- ・蕨島小PTA
- ・地域住民



【伝統芸能支援】

- ・新地節保存会
- ・蕨島自治会
- ・蕨島小PTA
- ・地域住民
- ・子ども会育成会

学校評価部

学校運営協議会の話し合いにおいて「児童による学校評価」、「保護者による学校評価」、「委員による学校評価」、「学校職員による学校評価」をもとにして、学校運営における課題の共有、解決策等について検討した。

広報・行事部



【運動会・学習発表会等での特認校生募集活動】

- 運動会では自粛したが、学習発表会では、特設ブースを作り、興味のある方々への対応を行った。
(特認校制度についてなど)
- 案内チラシの作成・掲示。
特認校生募集を兼ねた内容のチラシを保育園・幼稚園を中心に持って行き、保護者への配布をお願いする予定だったが、今年度も自粛した。学校付近の道路沿いへの掲示のみ行った。

【成果と課題】

○成果

- ・学校支援部の活動により、学校職員だけでは難しい学習活動がスムーズかつ充実したものとなった。
- ・学校評価を行うことで課題を共有し、環境美化等にすぐに対応していただいた。(皆が協力的である)
- ・広報・行事部の活動で様々な取組に関心を持つ方が増えている。

○課題

- ・支援をいただく方々の人材確保や日程の調整などは難しい。
- ・もともと学校運営には協力的だがさらにCSの周知が必要。
- ・コロナ禍においても安定した児童数を確保できるような具体的な取組を検討する必要がある。

【今後の取組】

- ・コロナ禍におけるCSの周知の方法を模索・検討していく。
- ・高齢者の多い蕨島集落だが活性化に向け、様々な取組(イベント等)を通して、楽しい「地域づくり」、「学校運営」を進めていく。